

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2022 年 2 月 5 日

事業所名：こどもサポート教室「きりり」栗林南校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	2		適切なスペースとは何かが利用者や支援によって異なるのでその都度検討していく。
	②	職員の配置数は適切であるか		1	3	今年度の異動等では利用者にご迷惑をおかけしました。人材確保に努めている最中である。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	1	1	ご利用のお子様に応じた改善を行っていく。モニタリング時にご不便をお感じになっていないかのお伺いをする。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	2	1	1	職員間の情報共有の機会を増やしていく。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	1		
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		1	3	こうしたアンケートへの対応などから改善を行っていく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか		2	1	アセスメントを行う力を高め、自信を持って支援提供が行えるように努める。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	3		アセスメントツールを扱う力を高め、自信を持って支援提供が行えるように努める。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	1	1	2	指導員個人の力に依拠している部分を減らせるよう、まずは計画作成からテコ入れを行う。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	2		2	活動プログラムが固定化しないように心がけていく。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	1	4		指導員個人の力に依拠している部分を減らせるよう、まずは計画作成からテコ入れを行う。

	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	2	1	1	アセスメントを行う力を高め、自信を持って支援提供が行えるように努める。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	2	2		職員間の情報共有の機会を増やしていく。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	1		
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	1	1	2	業務の効率化を図り、最低限やらなければならないことを遂行していく。
	⑱	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	2	2		アセスメントを行う力を高め、自信を持って支援提供が行えるように努める。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	2	2		業務の効率化を図り、最低限やらなければならないことを遂行していく。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	3	1		
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	2	1	1	学校連携等の頻度は少なくないが、こうした機会に関する偏りが見られるので、必要な利用者に必要な連携が行えるように改善していく。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2		2	医療連携が行われることもあるが、こうした機会に関する偏りが見られるので、必要な利用者に必要な連携が行われるように改善していく。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	1	1	かけはしの活用などに努めているが、こうした機会に関する偏りが見られるので、必要な利用者に必要な情報共有が行われるように改善していく。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		3	1	まったく行えておらず、問題が発生してから情報を共有することとなる。まずは相談員との課題共有から改善していく。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1		
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		1	3	まったく行えておらず、問題が発生してから情報を共有することとなる。まずは相談員との課題共有から改善していく。

	⑳	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか		3	1	まったく行えておらず、問題が発生してから情報を共有することとなる。まずは参加の機会を増やしていく。
	㉑	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	2	2		保護者との関わりの頻度は少ないが、こうした機会に関する偏りが見られるので、必要な利用者に必要な対応が行えるように改善していく。
	㉒	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		2	2	ペアレントトレーニングトレーナーとなる人材が育成されていない。まずは支援に必要なアセスメント力の向上から目指していく。
保護者への説明責任等	㉓	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	2	2		今年度中に改善を行います。
	㉔	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	2	2		保護者との関わりの頻度は少ないが、こうした機会に関する偏りが見られるので、必要な利用者に必要な対応が行えるように改善していく。
	㉕	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	1	2	まったく行えていない。コロナの状況を見て、こうした会合の開催を検討したい。
	㉖	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	1		
	㉗	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	1		
	㉘	個人情報に十分注意しているか	4			
	㉙	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	1	3		保護者との関わりの頻度は少ないが、こうした機会に関する偏りが見られるので、必要な利用者に必要な対応が行えるように改善していく。
	㉚	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	1	2	外部との関わりはいくつかあるものの、十分とは言えない。コロナの状況を見て検討したい。
非常時等の対応	㉛	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	1	3		保護者との関わりの頻度は少ないが、こうした機会に関する偏りが見られるので、必要な職員や保護者に必要な周知が行えるように改善していく。
	㉜	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	2	2		毎月の防災訓練では不十分な様子なので訓練内容や回数などを見直す。

④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			
④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	1		
④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	1	1	保護者との関わりの頻度は少ないが、こうした機会に関する偏りが見られるので、必要な利用者に必要な対応が行えるように改善していく。
④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4			

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2022年 2月 5日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」栗林南 校

保護者等数（児童数）： 55 回収数： 35 割合： 63.6 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	28	7		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	14	16	17	<p>職員の方の数が減った事もあり、少々不安。現在は満足→職員不足で定期案内が不安定になってしまっていますが、空きコマの案内や日々の支援へご納得いただけるよう利用時にご説明やご相談をさせて頂きたいと思います。</p> <p>専門性のある先生もいますが、そうでない先生もいらっしゃるように思います→十分な支援を提供させていただけるよう外部研修などを活用し、知識の向上につなげていきます。</p> <p>人数不足→今後、支援員の数の充実になるようすすめていきます。</p>
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	13	18	4	<p>バリアフリー化は感じますが、手すりが見当たらないなあ、、、→現在校舎にはトイレの個室のみになっております。校舎内で必要に応じて検討をして進めたいと思います。</p>
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	30	4		<p>工夫されています ありがとうございます→今後もニーズに沿ったご提案、提供に努めます。</p>
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	22	9	1	<p>工夫されています ありがとうございます→今後も利用者様の状況、状態に合わせて支援を提供するよう努めます。</p>
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	13	16	<p>こうした交流を行ってまいりませんでしたが、検討をしてみたいです。</p>
保護者への	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	34	1		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	32	1	2	

説明等	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	29	6		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	9	16	9	デイサービスでの連携の必要性を感じない→必要に応じて実施させていただいており、ご利用者様へ皆様に周知はさせていただきますが、ご希望された方へ案内致しております。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	24	11		
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	26	9		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	24	10		まだ通い始めたばかりで活用できていない→校舎だよりとして毎月お渡しさせて頂いています。説明不足が至る点であったかと思えます。周知の徹底をします。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	32	3		
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	23	10	2	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	19	5	支援時間と重ならない時間帯に実施されていると思います。→現在は職員のみで実施しています。しかし支援として提供できる時は実施させていただきます。 不明→現在は職員のみで実施しています。しかし支援として提供できる時は実施させていただきます。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	20	8	1	通所前より出来る事が出た為か、準備もサクサクできた→今後もお子様の成長のお手伝い、促していけるよう日々の支援に取り組んでいきたいと思えます。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	22	7	1	

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。